

理工学 メディアセンター ニュース



Media Center for
Science and Technology
Newsletter

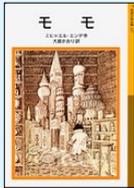
私の1冊

応用化学科

藤本啓二先生

『モモ / ミハエル・エンデ著』

配架場所：創想ライブラリー



普段、人の話をじっくりと聞いている
でしょうか。この本の中心になっている
モモは、みんなの話をじっと大切にそ
のまま聞く存在であり、忙しい灰色の
男たちにとっては厄介な存在でもあり
ます。カメに乗ってマイスター・ホウとい
う存在に会いに行ったりします。まさし
く中心的な存在です。

この物語はどこで起こったことで何を
語ろうとしているのでしょうか。そこは、
われわれの周りでもあり、内部でもあ
ると感じさせてくれます。もうひとつの
現実がそこにあることを悟らせようとし
ているように思います。モモとは、われ
われにおいてどんな存在なのでしょう
か。時間というワードがとても気になっ
てきます。

まだまだ読みが浅いですが、わたし
にとってこの本は大変ありがたいもの
です。出会いがうまくいけば、本は人
を変えてくれるものだと思います。

Contents

第14回サイエンスカフェ P.1

英語論文投稿セミナー開催 P.1

小展示：
ご存知ですか、ファンマン先生 P.2

個別レクチャー案内 P.2

第13回サイエンスカフェを開催しました P.2

イベント 第14回サイエンスカフェ

第三次人工知能ブームがもたらした 生命科学における革新 — 塾生なら誰でも使える人工知能Watson —

今年度第二弾のサイエンスカフェは、生命情報学科の榊原康文先生を
ゲストスピーカーにお迎えし、ご講演頂きます。

【講師】榊原 康文 先生 (生命情報学科)

【日時】2018年6月22日(金) 18:15-19:30

【会場】理工学メディアセンター創想館1階

【対象】塾生・教職員 (1・2年生、専門外の方、大歓迎！)

※事前申込みは不要です。直接会場にお越しください。

【榊原先生からの講演案内】

30年前の第五世代コンピュータ開発に代表され
る第二次AIブーム時に、ヒトゲノム解読が完了した
ことを契機としてバイオインフォマティクスの研究が本
格的に始動しました。深層学習・ビッグデータ・GPU
の三種の神器が、現在の生命科学や医療に与えて
いる進歩と変革について紹介します。また、人工知
能ブランドとなった Watson を全塾的に使用す
ることが可能になったことについても紹介します。



人工知能Watsonという最高の相棒を得たバイオインフォマティクス研究は、二重螺旋に複
雑に入り組んだ生命の謎を解くことができるでしょうか。エキサイティングな現場を榊原先生に
平易に解説していただきます。皆様お誘いあわせの上、是非ご来場ください！

セミナー

英語論文投稿セミナー開催

トップレベルの論文執筆に必要な研究メソッド

— インパクトファクターを超えて —

Web of Science の提供元である研究情報調査機
関、クラリベイト・アナリティクスより講師を招き、アクセプト
される論文に重要な、効果的な論文執筆フローや役立
つツールの最新動向についてご案内します。

- ◆ 論文をイメージしながら研究を進める重要性
- ◆ 良い論文 = たくさん読まれる論文を書くためのコツ
- ◆ 適切な投稿先のジャーナルの選び方
- ◆ 効率の良い本文の書き進め方
- ◆ 引用すべき適切な論文の選び方
- ◆ 査読者とのやりとり
- ◆ 発表論文を世界にPRする方法

【日時】2018年6月13日(水) 15:00-16:30

【会場】矢上キャンパス14-204 (セミナールーム4)

【対象】慶應義塾大学所属者

【講師】クラリベイト・アナリティクス

(旧トムソン・ロイター IP&Science)

【持ち物】(可能であれば) 普段使用しているPC

Clarivate Analytics
クラリベイト・アナリティクス
(旧トムソン・ロイター IP&Science)

英語論文投稿セミナー

トップレベルの論文執筆に必要な研究メソッド
— インパクトファクターを超えて —

■ Contents

- 論文をイメージしながら研究を進める重要性
- 良い論文 = たくさん読まれる論文を書くためのコツ
- 適切な投稿先のジャーナルの選び方
- 効率の良い本文の書き進め方
- 引用すべき適切な論文の選び方
- 査読者とのやりとり
- 発表論文を世界にPRする方法

日時：6月13日(水)
15:00~16:30

会場：矢上キャンパス14棟204教室 (セミナールーム4)

対象：慶應義塾所属者

講師：クラリベイト・アナリティクス 専任講師

持ち物：(可能であれば) 普段使用しているPC

予約：理工学メディアセンターWebサイト「申し込み」
「英語論文投稿セミナー」からお申し込みください。
<http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/>

アクセス：本館に到着後、エレベーターを利用し、14階まで上り、1401号室に入ります。
「英語論文投稿セミナー」の案内看板が掲示されています。

お問い合わせ：理工学メディアセンター (TEL: 45-17-30)
Eメール: scitech@lib.keio.ac.jp

【申込】
理工学メディアセンターWebサイト
> 申し込み > 英語
論文投稿セミナー



今月の1枚：
DVD & Blu-ray



皆さんはメディアセンターに、貸出できるDVDやBlu-rayが所蔵されていることをご存知ですか？

本館1階「AV資料コーナー」(リザーブ図書コーナーの裏面)にあります。タイトル数はあまり多くありませんが、中には先生ご推薦の作品もありますし、矢上キャンパスでしか所蔵していないものもあります。映画イベント「メディアdeシネマ」で使用した作品もここに置いています。

貸出期間は2週間となっております。もちろん自宅でご覧になることもできます。勉強や研究の合間の息抜きとしていかがでしょうか？

貸出ご希望の際は、他の資料と同じように、貸出・返却カウンターまでお持ちください。

メディアセンター豆知識

松下記念図書館

これは理工学メディアセンターの別称です。ご存知でしょうか。

1971年に工学部が小金井から現在の矢上キャンパスに移転する際、近代的な図書館を新築するには1億2千万円が必要でした。当時社会貢献のために各方面に寄付を行っていたパナソニック(当時は松下電器産業)創業者、松下幸之助氏の厚志で図書館建築費の全額が義塾に寄付され、現在の本館が建ったのです。最近ではネーミングライツによって企業名が施設名につくことがありますが、この名称には忘れてはならない松下氏への感謝の気持ちが込められています。

小展示

ご存知ですか、ファインマン先生

朝永振一郎、シュウィンガーとともに、量子電磁物理学分野での功績により、1965年にノーベル物理学賞を受賞したリチャード・ファインマン博士。物理学を学んでいなくても、名前くらいは聞いたことがある方も多いのではないのでしょうか。

今年はファインマン博士生誕100年、没後30年にあたります。これを記念して、人間的な魅力溢れるファインマン先生の、物理学だけではない「あれこれ」を紹介します。

愉快的な自伝的エッセイ『ご冗談でしょう、ファインマンさん』をはじめ、講演録、友人の科学者や家族が語る思い出話を収めた本など、手に取ってご覧ください。

【期間】2018年6月1日(金) - 7月31日(火)

【場所】理工学メディアセンター創想館1階



お知らせ 個別レクチャー案内
論文検索/Mendeley/EndNote

1名からの少人数向けに、研究内容に応じて個別にレクチャーします。

【実施期間】2018年6月1日(金) - 29日(金)

【実施時間】平日9:00-17:00の時間帯
(約45-60分)

【対象】矢上キャンパス所属の方

【内容】

▼論文検索コース

論文の探し方、文献データベース(Web of Science、Scopus、JDreamsIII等)検索

▼文献管理ソフトコース

Mendeley または EndNote の基本操作【申込】

理工学メディアセンターWebサイト> 申し込む



イベント報告
第13回サイエンスカフェを開催しました

5月23日(水)に、第13回サイエンスカフェ「人に優しい電動機駆動技術を応用した最先端双腕型ロボットの研究」が開催されました。

システムデザイン工学科の野崎貴裕先生を講師にお迎えして、リアルハプティクス技術を用いたロボットの仕組みや最新の研究成果、そして、理工学部OBとしてのご自身の体験や想いなどをお話いただきました。

最先端技術の興味深い話題と、映像や笑いも交えながら難しいことを噛み砕いて説明されるお話に引き込まれる参加者も多く、「もっと野崎先生の話を聞きたい」という声もあがりました。

終了後も、先生の魅力に惹かれて熱心に質問をする学生さんが先生を取り囲み、この分野への関心の高さもうかがえました。



理工学メディアセンターリポジトリ
ΣStar(シグマスター)

ΣStarでは理工学部の研究・教育成果のうち、電子化され、著作権者の許諾が得られたものを公開しています。学位論文・プレプリント・リサーチレポート・その他教材など、登録のご相談は理工学メディアセンターまでお寄せください。

理工学メディアセンターWebサイトに
あるバナーよりご覧ください。



発行

慶應義塾大学理工学メディアセンター

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1

TEL: 045-566-1477

E-mail: rmc-info-group@keio.jp

Webサイト



Twitter



電子版はWebサイト「図書館について」メニューにある「出版物・統計」よりご利用ください。